

# 阿井地区校区別協議会だより

令和3年7月15日  
第3号  
阿井地区校区別協議会事務局

## 教育魅力課へ再編統合に関する質問・意見を提出

7月6日(火)、第3回校区別協議会が開催されました。今回は、去る5月27日(木)に開催された「第1回校区別協議会代表者会議(各校区別協議会の代表者による全体会議)」における協議内容(代表者会議の今後の流れ、仁多地域統合小学校建設予定地に関する情報、各校区からの質問・要望事項に対する町からの回答、町から各校区への要望事項他)についての説明を受け、現在の進捗状況について確認を行いました。

その後、地域代表分科会と保護者代表分科会に分かれ、これまでに町の教育魅力課より提供された資料等を基に、7月16日(金)を提出期限とする教育魅力課に対する質問・意見の洗い出し作業を行いました。また、各分科会より提案された質問・意見については内容を精査のうえ整理・集約し、阿井地区校区別協議会全体の質問・意見として提出を行いました(裏面「小学校再編統合に関する意見・質問等について」を参照下さい)。



阿井小学校の様子

### ◇保護者代表分科会活動報告◇

保護者代表分科会では、6月以降、精力的に分科会を開催し、協議を重ねてきました。これまでに分科会において実践した取組みについては、以下の3項目です。

- ① 分科会構成員の考えを出し合うことにより得られた「再編を行った場合のメリット・デメリット」の共有
- ② ①から得られた情報を基に、くじ引きのうえで無作為に再編賛成派と反対派に分かれてのディスカッション(模擬討論)の実施
- ③ ②実施したディスカッションの結果分析



① グループワークの様子  
(再編のメリット・デメリットの抽出)



② 模擬討論の様子  
(各派活発な議論を行いました。)

現在、町から発信されている統合に向けた具体的な情報についてはまだ充分ではありませんが、これまでの分科会での取組みにより、現在の阿井小学校が抱えている、あるいは将来的に想定されるであろう問題点を踏まえたうえで、小学校統合の可否の判断に向けて何をどのように整理すべきか、その方向性が少しずつはあるものの見えつつある状況です。今後、地域の皆様あるいは保護者の皆様のご意見やご要望を参考にさせていただきながら、更なる分科会での協議・検討を進めていきたいと考えています。

## 小学校再編統合に関する意見・質問等について（7/16〆切分）

### (1) 教育魅力課からのお問い合わせ内容について

各校区の協議会から提出された質問意見等については、6月1・1日に回答頂いているところですが、回答内容の中には抽象的で具体的な表現や不明確な表現があるため、受け取る側の捉え方で誤解が生じる恐れがあります。できるだけ曖昧な表現は避けより具体的な回答をお願いします。

### (2) 通学サポートについて

#### イ. 回答内容の確認

通学サポートについて「永続的な対応は考えていない」との回答を頂いていますが、この意図は、「一年生入学後、一年間のうち数ヶ月間のみ配置する」という意味なのか、「統合後数間に限り配置する」という意味なのか、それともその両方なのか、具体的に考え方をお示し下さい。また、検討されている通学サポートの内容について提示をお願いします。

#### ロ. 要望

路線バスの乗車に不慣れな一年生は、毎年入学しますので可能な限り通学サポート体制が維持されることを望みます。特に、下校時は時間割の都合、低学年のみでの乗車となる曜日があることが想定されます。また、登校時は乗り遅れが生じる可能性もあり対応できる体制が必要と考えています。

### (3) 子どもと地域との連携について

①子どもと地域の関わりについては、「新しいやり方で地域とつながっていく方法を協議会などで一緒に検討いただきたい」と回答を頂いておりますが、「一緒に」は教育魅力課と「共に」なのか、再編協議に「併せて」なのか具体的にお示し下さい。

②令和2年3月に示された『再編方針の修正について』では「各校区で行っている各種行事について継続でき、地域全体を子ども達の学びの場とし、地域と学校がよりつながる仕組みづくりを進める」と明記されていますが、今回示された回答では、「現在行われている活動を全て継続することはできない。休日や放課後等の自主的な参加が基本となる。」とされております。『再編方針の修正について』が提示された際には、読み取ることはできませんでしたが、今回の回答内容を踏まえると、実質、現在行われている行事の殆どは自主的な参加への位置づけに移行し、限られた行事のみ「地域と学校がよりつながる仕組み」に位置づけられる見込みですが、今後は、今までの運営がそのまま継続されると考えて良いでしょうか。

### (4) 総合小学校の建設計画について

建設予定地（案）として現三成小学校の敷地が示されたところですが、どのような施設整備を想定されているのか次の点について提示下さい。

①アールの解体が予定されていますが、その後アールは新たに建設されないのでしょうか。敷地内に想定されている施設などを具体的な資料等で提示頂くことはできませんか。

②仁多地域の小学校が統合された場合、児童数に対して既存の体育館は手狭に感じますが、示された資料のとおり体育館の建て替えは無いのでしょうか。

③通学にバスを利用する児童が多く、登下校の時間帯には町内各地域のバスが集うと思われますが、現三成小学校の敷地周辺で安全な乗降場所の確保は可能ですか。想定はどういう乗降場所の整備を検討されていますか。

### (5) 中学校の再編について

『第2期 奥出雲町子ども子育て支援事業計画』に掲載されている【奥出雲町の平成30年度児童別・学年別児童数(P8)】を確認すると、平成31年3月31日現在、奥出雲町全体で中3生徒数が94名に対し0歳児は56名とほぼ半減しております。現状の厳しさが伝わってきます。その中、小学校再編は現在から10年以上前の平成19年度～平成21年度に協議された答申を踏まえた小学校再編の協議が進められています。少子化への対応という基本的な考え方は大きく変わらないとしても、10年以上前の判断基準が今後20年先を見据えた将来像に相応しいのか不安に感じる部分もあります。

一方で中学校の再編に関しては、有識者等による協議や答申を得ていないこと理由に、多くの意見が出ている再編の議論を先送りされるような回答を頂いています。今回の再編が将来の子ども達のためであるならば、小学校再編協議の基準となっている答申を再点検し、必要があるならば中学校再編を含めた並行した議論が必要ではないかと考えます。

### (6) 統合しない小学校に対する対応について

協議の結果、統合しない結論に至った場合、従来どおり小学校が存続することになりますが、この場合、現在享受している児童保護者に対する各種支援措置や学校運営上の町からの支援は継続されますか。再編に参加しないことで不利になるような取り扱いは無いでしょうか。